

# 市町村自治体運営セミナー

**第3 2次地方制度調査会の委員をお招きし、  
これからの自治体運営について考えます。**

～過去からの延長線ではなく、2040年頃を展望して見えてくる変化・課題とその課題を克服する姿を想定した上で、現時点から取り組むべき方策を整理する視点が重要であり、地域社会を取り巻く環境が大きく変容していく中において、地方公共団体には、豊かで多様な価値観を背景とする住民の暮らしを持続可能な形で支えていくことが求められる。～

(第3 2次地方制度調査会答申「前文」から)



第3 2次地方制度調査会答申（令和2年6月）

**第1部：講演** 13:35～14:30

## 「2040年の地方自治の危機」をめぐって

第3 2次地方制度調査会委員

牧原 出(まきはら いづる)

第3 2次地方制度調査会答申に至るまでの議論やそこに込められた想いを解説いただくとともに、地方行政のデジタル化など、これからの自治体運営を左右する重要施策について講演いただきます。



**第2部：トークセッション** 14:35～15:30

## 持続可能な地域を目指して

事例発表者 弘前市長 櫻田 宏、中泊町長 濱舘 豊光

コーディネーター 牧原 出

国、他県の最新の動向等を交えながら、県内の先駆取組事例を紹介します。

日時 令和4年1月24日(月) 13:30～  
会場 青 Web開催となりました (り)  
対象 市町村長、市町村の幹部職員

# プロフィール

## 東京大学先端科学技術研究センター教授 牧原 出

東京大学法学部卒業。東北大学大学院法学研究科教授を経て、2013年4月から東京大学先端科学技術研究センター教授（現職）。専攻は行政学・政治学。

第32次地方制度調査会委員をはじめ、総務省デジタル時代の地方自治のあり方に関する研究会委員、総務省自治体戦略2040構想研究会座長代理など、公的機関の委員を多数歴任。



弘前市長  
櫻田 宏

1959年弘前市生まれ。弘前市役所入庁後、政策推進課長、観光振興部長等を歴任し、2018年から弘前市長。津軽圏域において、様々な分野で周辺市町村と連携した取組を展開。



中泊町長  
濱舘 豊光

1959年中里町(現中泊町)生まれ。青森県庁入庁後、秘書課長、東京事務所長等を歴任し、2017年から中泊町長。地元で水揚げされたメバルを使用したオリジナル商品を次々と開発するなど、地域の活性化をけん引。

## 会場

青森県  
(アビオ)

青森

TEL 017-732-1010

Web開催となりました



## お問合せ先

青森県総務部市町村課  
総務・行政グループ  
TEL 017-734-9071